はじめに

GENIO eでビジネスからエンタテイメントまで、いろいろなことができます。使い方の詳細は取扱説明書をご覧ください。



アドレスの
管理が
できる！

スケジュールの
管理が
できる！

手書きのメモ、
図、文字の
入力ができる！

音声の録音が
できる！

文章や表の
作成や
修正ができる！

音楽を
楽しめる！

広がるGENIO eの世界

お手持ちの携帯電話やPHSカードと接続して、
移動先でホームページを見たり、
電子メールの送受信ができる！

お手持ちのパソコンと接続して、
パソコンで作成したファイルを
GENIO eに転送して持ち歩いたり、
GENIO eで編集した後、
パソコンに戻して再編集できる！

受信メールや電子ブック、
テキストデータを音声で
読み上げてくれる！

電子本や青空文庫などを、
書籍のように縦書きで
読むことができる！

電車の乗り換え案内に使える！
・e550GX、e550GX/MD

ちょっと一息、ゲームもできる！

初めに**セットアップ**をしよう

次に**パソコンとの接続**をしよう

通信設定をしてみよう

付属品

最初に付属品をご確認ください。

スタイラス（本体に装着）................... 1本
USBクレードル................................. 1個
ACアダプタ 1個
電源コード... 1本
カーソルボタン（交換用）................... 1個
ソフトケース 1個

コンパニオンCD 1枚
クイックスタートガイド（本書）....... 1冊
取扱説明書 1冊
ソフトウェア使用許諾書..................... 1式
保証書 1枚
取り出しテープ 2枚

● 以下e550GSのみに付属

リモコン付きイヤホン 1個

● 以下e550GX/MDのみに付属

1GB Microdrive™ 1個
1GB Microdrive™ 取扱説明書 1冊

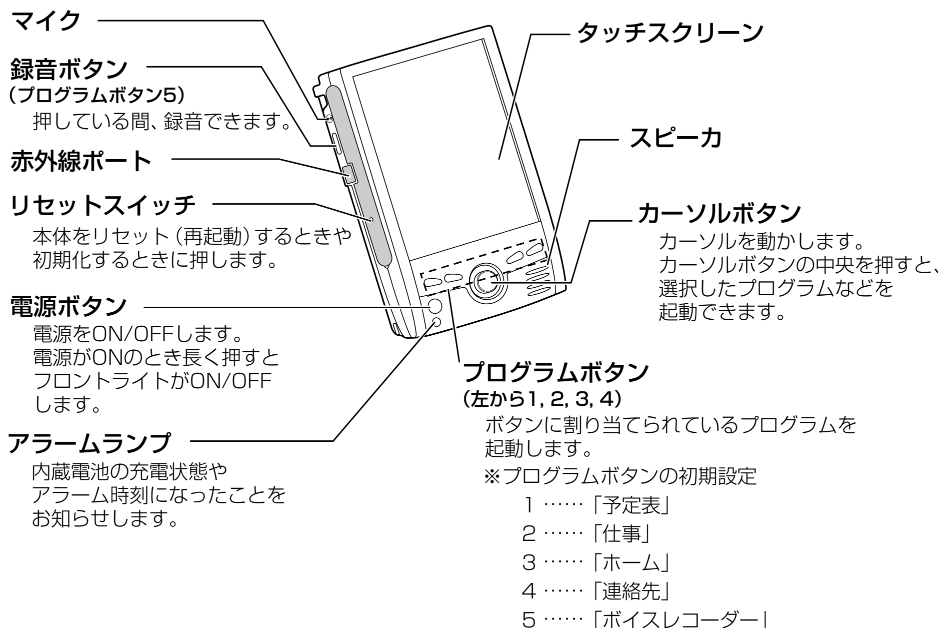
もくじ

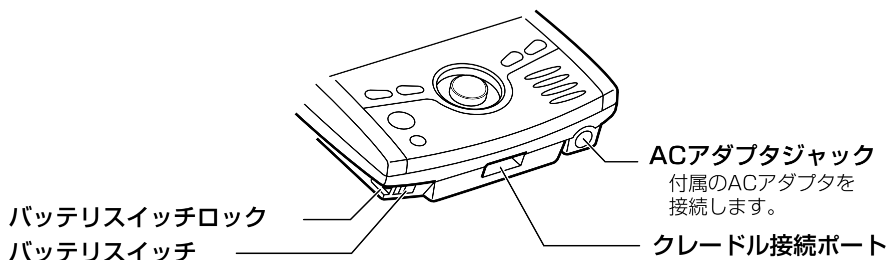
（お使いになる前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。）

最新の情報は、ホームページをご覧ください。
http://genio-e.com/

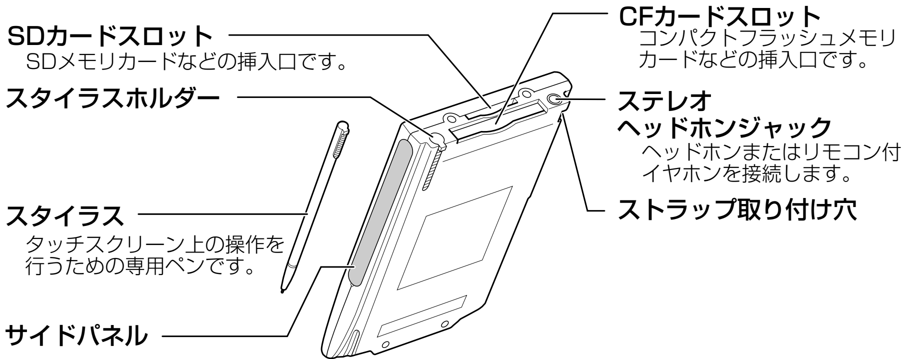
各部のなまえと機能

■ 本体（前面・左側面・底面）

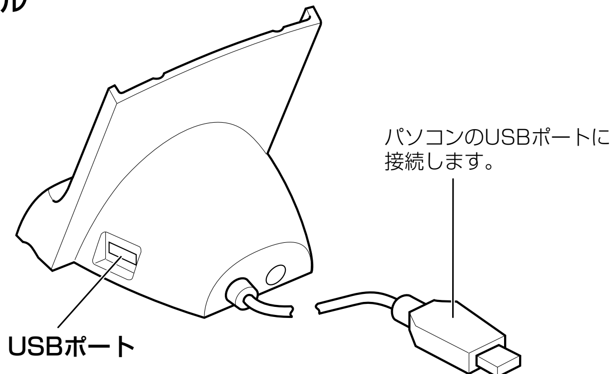




■ 本体（上面・背面）



■ USB クレードル



スタイラスの使いかた

● **タップ**

タッチスクリーンを軽く１回タッチする操作です。

画面上のメニュー、アイコン、ボタンなどを選択するときに使います。

● **タップアンドホールド**

タッチスクリーンをタップして押し続ける操作です。

画面上のアイコンや項目を「タップアンドホールド」するとポップアップメニューが表示されます。

● **ドラッグ**

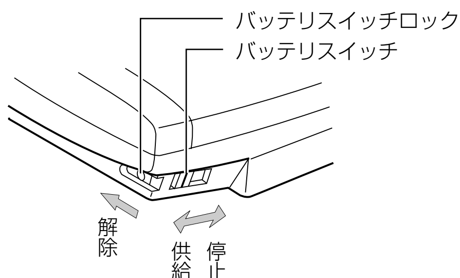
タッチスクリーン上をスタイラスを使って引きずる（ドラッグ）操作です。

画面上のアイコンなどの移動や手書き入力、描画するときにこの操作をします。

セットアップ

1 バッテリスイッチを「供給」にする

工場出荷時はバッテリスイッチが「停止」になっています。
お買いあげ後、初めてお使いになるときはボールペンのペン先などで「供給」側に移動してください。
通常は「供給」にしておきます。

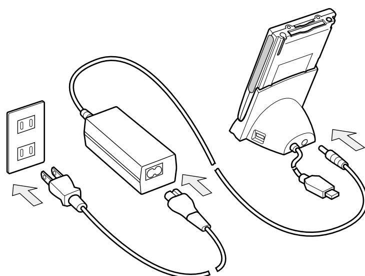


- 「停止」側に戻すときは、バッテリスイッチロックをスタイラスで「解除」側に押しながら行います。「停止」にすると、本体が初期化され、あとから保存したデータが消え、工場出荷時状態に戻ります。

2 AC アダプタで電池を充電する

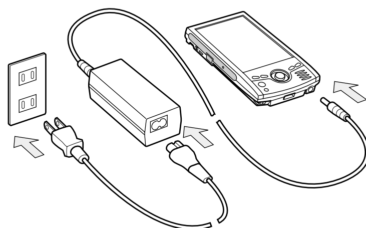
充電するときの接続のしかたには、2 つの方法があります。

クレードルを使う方法



付属の AC アダプタとクレードルを図のように接続し、本体をクレードルに差し込みます。

本体に AC アダプタをつなぐ方法



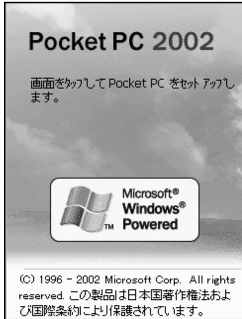
付属の AC アダプタと本体を図のように接続します。

お知らせ

- 充電中は、アラームランプがオレンジ色、または黄色に点灯します。黄色の点灯中は充電を続けてください。充電を中止すると本体内の記憶データが消失する恐れがあります。
- 充電が完了すると、アラームランプが緑色に点灯します。

3 充電完了後、電源ボタンを押して電源を ON にする

初期セットアップの「Pocket PC 2002」という画面が表示されます。

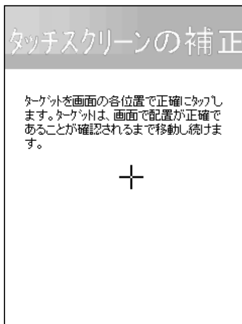


4 初期セットアップの「Pocket PC 2002」の画面をタップする

「タッチスクリーンの補正」の画面が表示されます。

5 「タッチスクリーンの補正」を行う

- スタイラスでターゲット（十字）の中心をタップします。ターゲットはタップすることに動きます。5 回タップすると補正が完了し、次の「スタイラス」の画面に移ります。



お願い

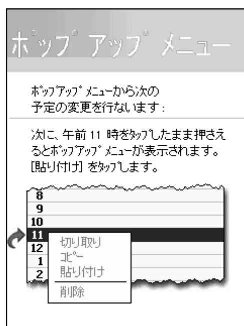
- 指などが画面に触れたりすると、補正できません。そのときは補正が完了しませんので、指などを画面から離し、もう一度ターゲットの中心をタップし、補正を行ってください。

6 「スタイラス」の使いかたの説明を読む

- 説明をお読みになり、[次へ]をタップしてください。

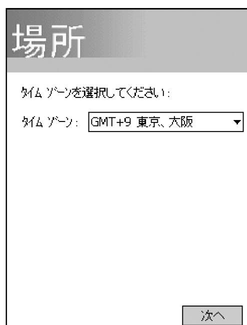
7 ポップアップメニューの操作を練習する

- 画面の説明をお読みになりましたら、実際に操作してみましょう。
  説明に従って「ポップアップメニュー」を表示させる操作と「切り取り」、「貼り付け」を行います。
- 「貼り付け」をしたら練習は終了です。[次へ]をタップしてください。



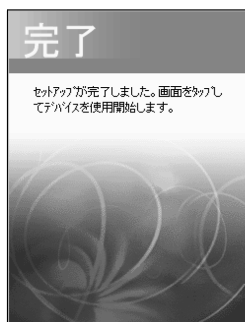
8 場所を設定する

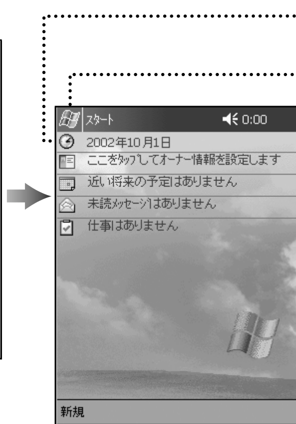
- 通常はそのまま[次へ]をタップしてください。
- タイムゾーンのボックスの右端にある▼をタップすると、一覧が表示されます。
  必要に応じて本商品を使用する「タイムゾーン」をタップして選んでください。



⑨「完了」の画面をタップする

「Today」画面になり、本体を使用開始できます。





「Today」画面

タップすると、日付、時刻が設定できます。

左上の 「スタート」をタップすると、「スタート」メニューが表示されます。メニュー枠の外をタップすると消えます。



「スタート」メニュー

基本的な使いかたについて

参照 取扱説明書第２章の「基本的な使いかた」

文字入力のしかたについて

参照 取扱説明書第２章の「文字入力のしかた」

パソコンとの接続

本体とパソコンを接続すると、本体とパソコンとの間で、「連絡先」、「予定」、「仕事」、「受信トレイ」の同期や、ファイルの転送などが行え、便利です。
パソコンとの接続は、次の1、2のステップで進みます。ステップ内の具体的な操作方法は、次ページからご覧ください。
説明画面はWindows®XPを使用しています。お使いのパソコンのOSによって画面が異なります。

1 パソコンに「Microsoft® Outlook® 2000」をインストールする

インストールには、パソコンの空きハードディスク容量が227MB以上必要です。

Outlook® 98がインストールされている場合でも、Outlook® 2000をインストールすることを推奨します。

パソコンに、すでに「Outlook® 2000」、「Outlook® 2002」がインストールされている場合はこの作業は不要です。次のステップに進みます。

Exchange Serverを使用しているシステムのパソコンにインストールする場合は、システム管理者にご相談ください。

2 パソコンに「Microsoft® ActiveSync® 3.5」をインストールする

インストールには、パソコンの空きハードディスク容量が12～65MB必要です。

インストールの途中で、クレードル、本体の接続をします。ActiveSync® 3.1がインストールされている場合でも、ActiveSync® 3.5をインストールしてください。


お願い

接続の指示があるまで、パソコンとUSBクレードル、クレードルと本体を接続しないでください。指示前に接続すると、インストールが正常にできません。

接続できるパソコンについて



取扱説明書第2章の「パソコンの必要条件について」

付属のコンパニオンCDの自動起動画面について



取扱説明書第5章の「付属のコンパニオンCDについて」

1 「Microsoft® Outlook® 2000」をインストールする

実行中のプログラムは終了しておいてください。

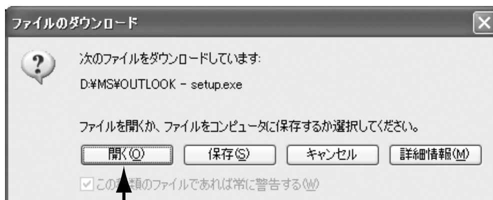
1 パソコンの CD-ROM ドライブにコンパニオン CD を挿入する

CD-ROM が起動したら、「開始ページ」→「Outlook® 2000 のインストール」→「インストール」とクリックしてください。

2 「インストールメッセージ」画面が表示されたら、［OK］をクリックする



3 「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら、［開く］をクリックする

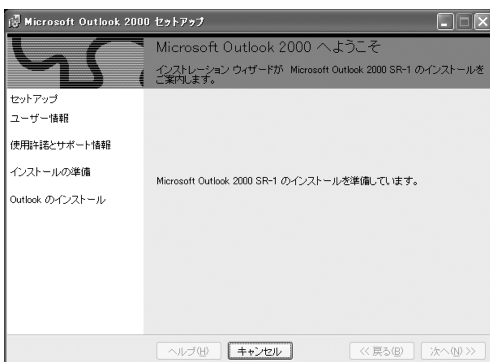


1 「Microsoft® Outlook® 2000」をインストールする

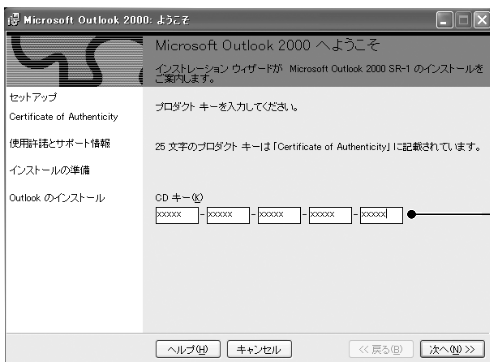
④ ［開く］をクリック後、しばらくすると次の画面が順次表示される











プロダクトキー番号を入力して、[次へ]をクリックしてください。

- プロダクトキー番号は、付属のコンパニオンCDのケースに貼られているシールの、バーコードの上部に「Product key:」のタイトルで記載されています。

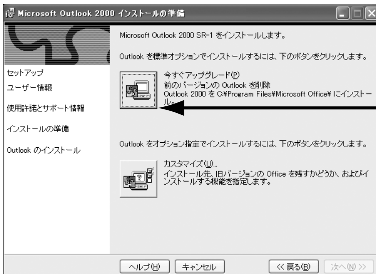
⑤ インストールの種類を指定する画面が表示される

Outlook® がインストールされていない場合



「今すぐインストール」をクリックしてください。
クリック後、⑥の画面が表示されます。

すでに Outlook® がインストールされている場合



[今すぐアップグレード] をクリックしてください。
クリック後、⑥の画面が表示されます。

1「Microsoft® Outlook® 2000」をインストールする

⑥ インストールを開始する



進行状況がバーに表示されます。
しばらくお待ちください。

⑦ インストールが終了したら、[OK] をクリックする



⑧ 画面上に「Microsoft® Outlook®」のアイコンができるので、そのアイコンをダブルクリックして、Outlook® 2000 を起動させ、画面の指示に従って設定する

2 「Microsoft® ActiveSync® 3.5」をインストールする

1 パソコンの CD-ROM ドライブにコンパニオン CD を挿入する

CD-ROM が起動したら、「開始ページ」→「ActiveSync® 3.5 のインストール」→「インストール」とクリックしてください。

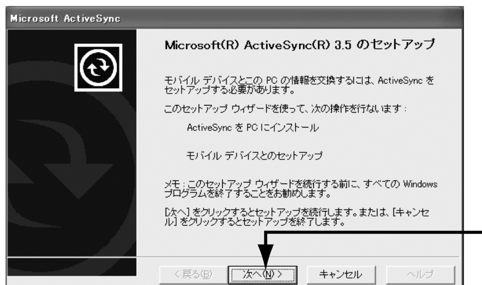
2 「インストールメッセージ」画面が表示されたら、[OK] をクリックする



3 「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら、[開く] をクリックする

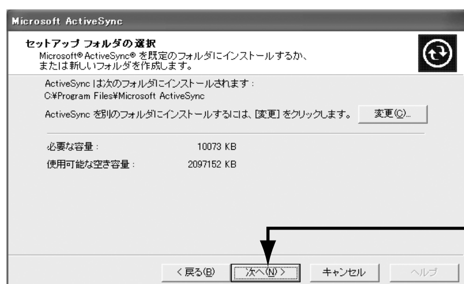


4 「Microsoft(R) ActiveSync (R)3.5 のセットアップ」の画面が表示されたら、[次へ] をクリックする



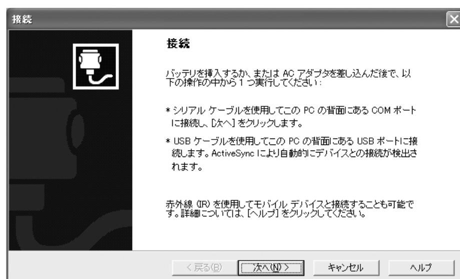
2「Microsoft® ActiveSync® 3.5」をインストールする

5 「セットアップフォルダの選択」の画面が表示されたら、[次へ] をクリックする

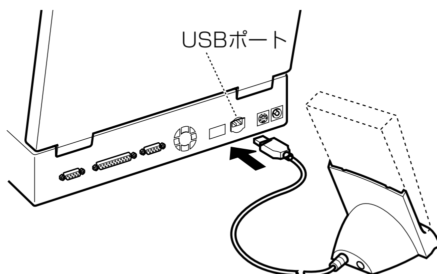


ファイルのコピー、システムの更新が行われますので、しばらくお待ちください。

6 「接続」の画面が表示される

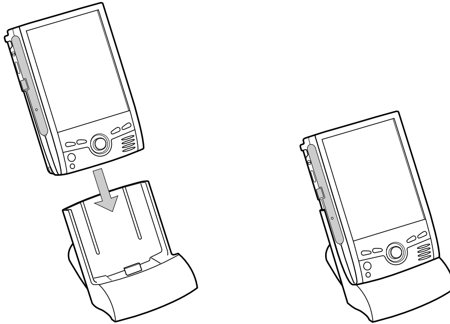


7 パソコンの USB ポートに、USB クレードルのみを接続する



- このときは、USB クレードルに GENIO e 本体を差し込まないでください。

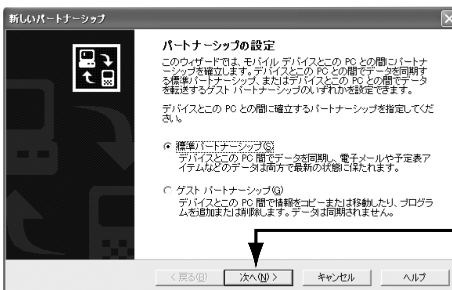
8 USB クレードルに、電源 OFF にした本体を接続する



● 奥までしっかり差し込んでください。

9 本体の電源が自動的に ON になる

10 しばらくして「パートナーシップの設定」の画面が表示されたら、[次へ] をクリックする



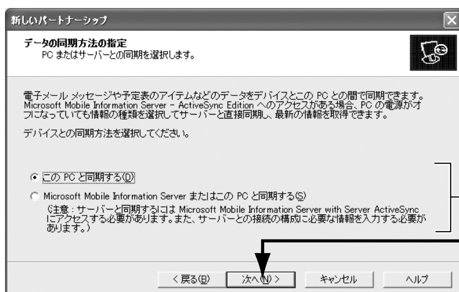
● 「標準パートナーシップ」が選択されていることを確認してください。
● 場合によってはクリック後、⑫の画面が表示されます。

お知らせ

● 「開始ページ」の画面の裏に表示される場合があります。

2「Microsoft® ActiveSync® 3.5」をインストールする

11 「データの同期方法の指定」の画面が表示されたら、どちらかを選択して［次へ］をクリックする



どちらかを選択してください。

12 「同期の設定の選択」の画面が表示されたら、同期したい情報にチェックを付けて［次へ］をクリックする



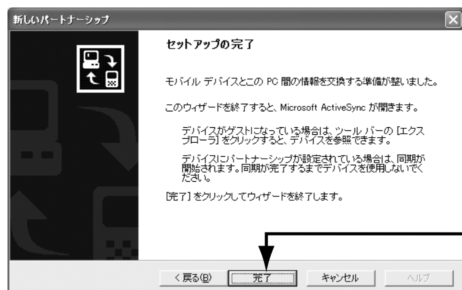
チェックを付ける

- 初期設定では、次の情報のチェックボックスにチェックが付いています。

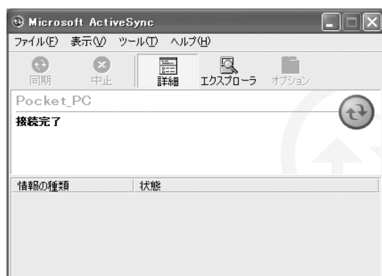
  お気に入り：Internet Explorer のお気に入りページを同期します。
  仕事　　　：仕事情報を同期します。
  受信トレイ：メールを同期します。
  予定表　　：予定を同期します。
  連絡先　　：連絡先を同期します。

- パソコンの Outlook® にある情報などと、本体の情報とを同期します。
  同期とは、パソコンと本体で、新しい情報を両方に更新させて、同じ情報に保つことです。

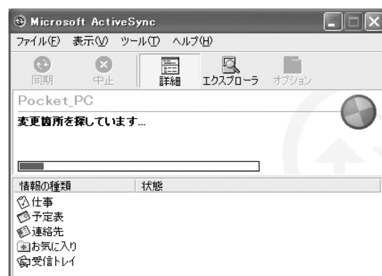
⑬「セットアップの完了」の画面が表示されたら、[完了] をクリックする



⑭「接続完了」の画面が表示され、しばらくすると同期を開始する





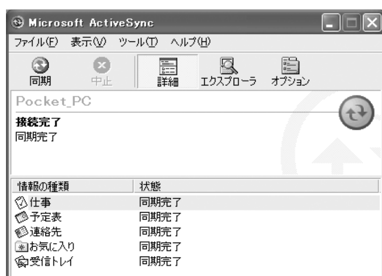


2「Microsoft® ActiveSync® 3.5」をインストールする

⑮ 途中「プロファイル選択」の画面が表示されたら、そのまま［OK］をクリックする
また、「結合 / 置換」の画面が表示されたら、どれか項目を選択して［OK］をクリックする

● 項目はどれを選択しても問題ありません。

⑯「接続完了、同期完了」の画面が表示される



これで、パソコンとの接続は終了です。


接続完了

通信設定

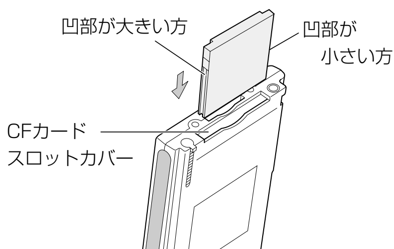
本体を使ってインターネットや電子メールをするために通信設定をします。通信設定は、次の1、2、3のステップで進みます。ステップ内の具体的な操作方法は、次ページからご覧ください。

1 インターネットの接続設定をする

CF タイプの PHS カード（P-in m@ster や C@rd H" 64 petit、Air H" Card petit)をご利用の方は、接続設定の前にカードを本体に取り付けます。

カードの取り付けかた

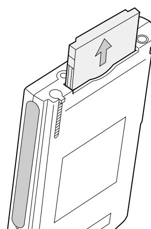
1) 本体の電源をOFFにしてください。
2) CF カードスロットの向きと、カードの向きが合うように確認して、差し込んでください。



・カードは、ゆっくり奥まで確実に差し込んでください。スロットカバーは内側に折りたたまれます。
・カードが差し込まれると、電源が入ります。

カードの取りはずしかた

1) 本体の電源をOFFにしてください。
2) カードの先端部分を指でつまんで、ゆっくり引き抜いてください。



・カードを引き抜くと、電源が入ります。

携帯電話をご利用の方は、本体との接続は、設定後です（36 ページ）。

2 電子メールの接続設定をする

本体のみで接続設定をします。CF タイプの PHS カード、携帯電話接続ケーブルは共にはずしておきます。

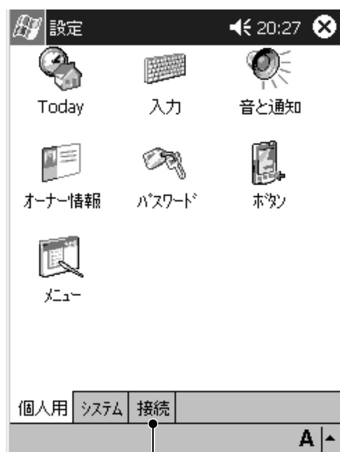
3 接続の確認をする

1 インターネットの接続設定

CFタイプのPHSカードを使う場合は、PHSカードを本体に取り付けてください。

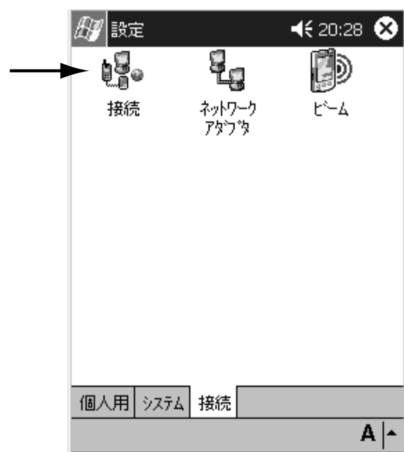
1 「スタート」メニューから「設定」を選択すると「設定」画面が表示される

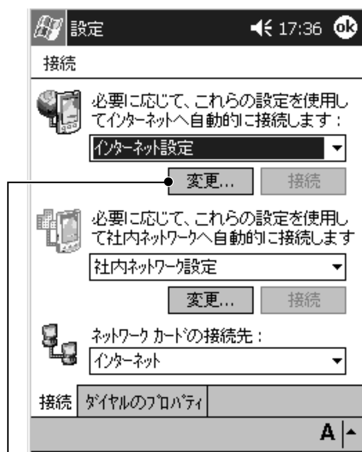




［接続］タブをタップしてください。

2 次の画面で「接続」アイコンをタップすると「接続」画面が表示される

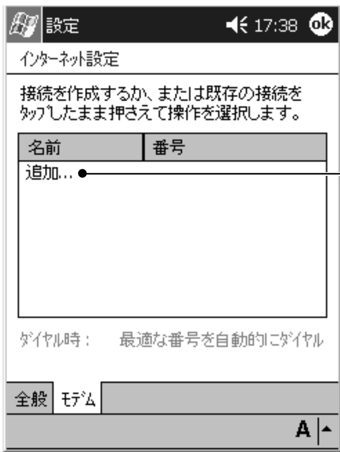




［変更］をタップしてください。

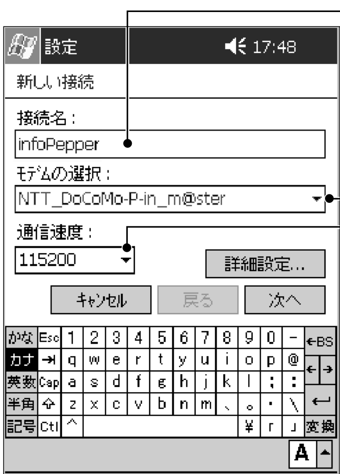
1 インターネットの接続設定

3 「インターネット設定」の画面が表示される



「追加 ...」をタップしてください。

4 「新しい接続」の画面が表示される



「接続名」には、内容がわかるような名前を入力してください。
例えば、プロバイダ名などを入力しておけば、後でわかりやすいでしょう。（ここでは、infoPepper を例にしています）

「モデムの選択」と「通信速度」は、ご利用になる CF タイプの PHS カード、携帯電話に合わせて設定してください。

※左図は、「NTT DoCoMo P-in m@ster」の場合です。その他につきましては、下表をご参照ください。

使用する通信機器	「モデムの選択」と「通信速度」
Air H" Card petit CFE-02	NEC_Infrontia-CFE-02 115200
C@rd H" 64 petit CFE-01	Nitsuko-CF_PHS_Module 115200
携帯電話 (cdmaOne)	COM5 上のcdmaOne接続： 115200
携帯電話 (PDC)	COM6 上のPDC 接続： 19200
携帯電話 (FOMA)	COM7 上のFOMAモデム： 115200

各フィールドに入力後、[詳細設定 ...] をタップしてください。

5 「詳細設定」の画面が表示される

「ポートの設定」では、通常変更の必要はありません。

「TCP/IP」も、通常変更の必要はありません。

[ネームサーバー]タブをタップしてください。

6 プロバイダの指示により、どちらかを選択する

プロバイダの指示により、どちらかを選択してください。

プロバイダの指定に従って、入力してください。

※「プライマリ DNS」「セカンダリ DNS」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

プライマリDNS	Domain Name Server (1) ドメインネームサーバー DNSサーバー DNSネームサーバー DNSサーバーアドレス　など
セカンダリDNS	Domain Name Server (2) ネームサーバー(2)　など

各フィールドに入力後、右上の ok をタップしてください。

1 インターネットの接続設定

7 「新しい接続」の画面に戻る

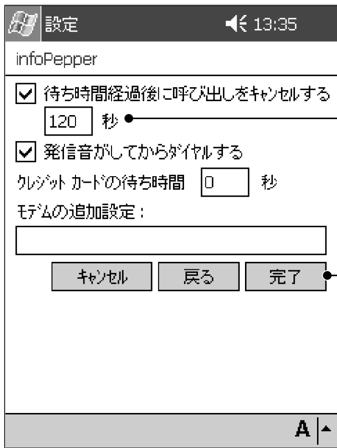
[次へ] をタップしてください。

8 この画面では、接続先の電話番号を入力する

CF タイプの PHS カードまたは携帯電話に対応しているプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力してください。

[次へ] をタップしてください。

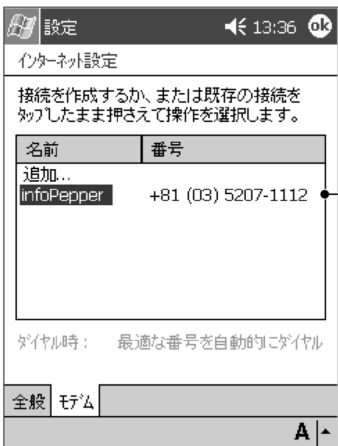
9 この画面では、通常変更の必要はありません



カードによっては、指定する必要があります。

[完了] をタップしてください。

10 「インターネット設定」の画面が表示される

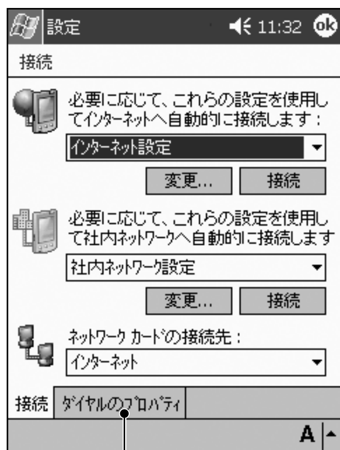


今作成した接続名の項目が追加されています。

右上の ok をタップしてください。

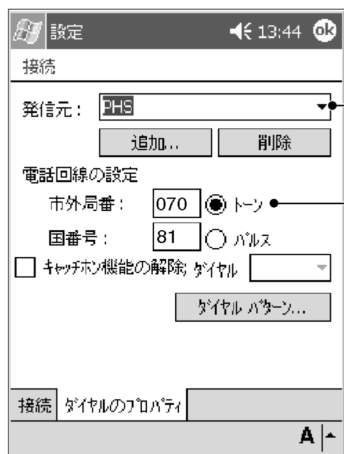
1 インターネットの接続設定

11 「接続」の画面に戻る



「ダイヤルのプロパティ」タブをタップしてください。

12 この画面では、「発信元」と「電話回線の設定」を入力する



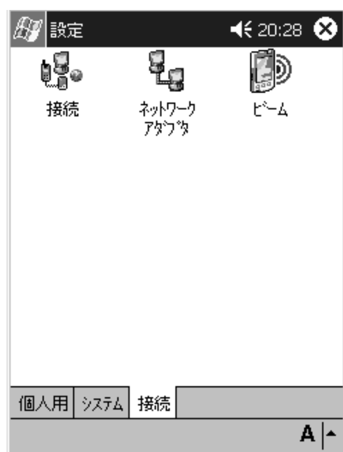


「発信元」は、「PHS」か「携帯電話」を選択してください。

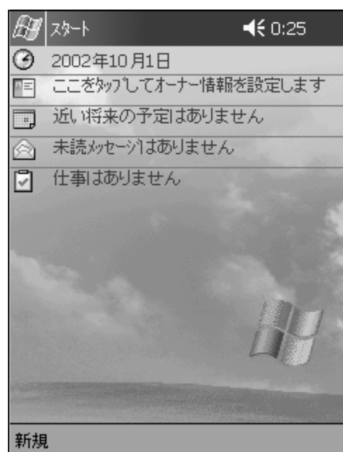
「トーン」を選択してください。

右上のokをタップしてください。

13 「設定」の画面に戻るので、右上の⊗をタップする



14 「Today」画面に戻る



これで、インターネットの接続設定は終了です。

2 電子メールの接続設定

本体から、PHS カード、携帯電話接続ケーブルを、はずしてください。

1 「スタート」メニューから「受信トレイ」をタップする



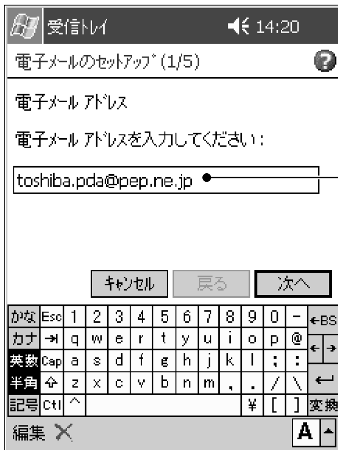
2 「サービス」をタップし、メニューの中から「新しいサービス」をタップする



「サービス」をタップしてください。



③「電子メールのセットアップ(1/5)」の画面が表示される



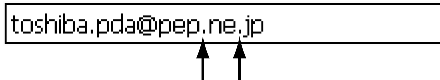
メールアドレスを入力して [次へ] をタップしてください。[次へ] をタップしたとき、「ネットワークへのログオン」の画面が表示された場合は、[キャンセル] をタップしてください。

お願い

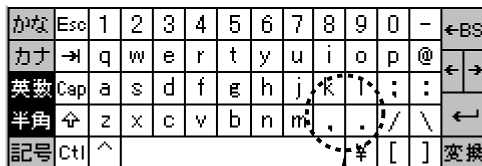
メールアドレスの入力について、以下の点にご留意ください。

■カンマ (,) とドット (.) の違い

一般に、メールアドレスにはドット (.) が使われています。



入力パネルのキー配列では、カンマ (,) とドット (.) は隣同士にあります。



右側のドット (.) を入力してください。

2 電子メールの接続設定

4 「電子メールのセットアップ(2/5)」の画面が表示される

「状態：」のフィールドの表示（「完了」）を確認する

受信トレイ 19:11
電子メールのセットアップ(2/5)
自動構成
電子メールの設定を自動的に構成しようとしています。
この手順をスキップするには、[スキップ] をタップします。
状態：
完了
キャンセル　スキップ　戻る　次へ
編集

▼本体をUSBクレードルに接続していると、「接続中」の表示がしばらく続きます。
そのまま「完了」になるまでお待ちください。

接続中...

「状態：」のフィールドが「完了」になったら、[次へ] をタップしてください。

5 「電子メールのセットアップ(3/5)」の画面が表示される

「ユーザー情報」を入力する

受信トレイ 19:12
電子メールのセットアップ(3/5)
ユーザー情報
名前：太郎
ユーザー名：a1b23456
パスワード：*****
パスワードの保存
キャンセル　戻る　次へ
編集

通常自分の名前を入力します。
差出人として相手方に表示されます。

プロバイダから指定されたメールサーバへ接続するための「ユーザー名」「パスワード」を入力してください。
(「ユーザー名」には、操作③で入力したメールアドレスの@より前の部分が自動的に表示されますので必要に応じて書きかえてください。)

※「ユーザー名」「パスワード」は、
プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	メールアカウント名 メールボックス名 ユーザID メールログイン名　など
パスワード	メールパスワード 接続パスワード ログインパスワード　など

各フィールドに入力後、
[次へ] をタップしてください。

⑥「電子メールのセットアップ(4/5)」の画面が表示される

「POP3」か「IMAP4」のいずれかを選択してください。一般的には「POP3」が使われています。

サービス名を入力してください。
プロバイダ名を入力しておくとよいでしょう。

各フィールドに入力後、[次へ] をタップしてください。

⑦「電子メールのセットアップ(5/5)」の画面が表示される

プロバイダから指定された
- 受信メールサーバー(POP3、IMAP4) 名
- 送信メールサーバー(SMTP) 名

を入力してください。

通常入力の必要はありません。

各フィールドに入力後、[オプション] をタップしてください。

2 電子メールの接続設定

8 「オプション」の画面が表示される

「オプション」は、3画面用意されています。[次へ] をタップして順に表示できます。

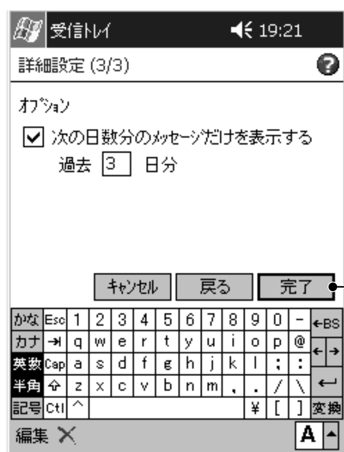
＜オプション1＞

必要のない場合は、☑をタップして、チェックをはずしてください。

＜オプション2＞

- 「メッセージヘッダーのみ取得する」を選択した場合、メールを受信してもメールサーバー上のメールは削除されません。
- 「メッセージの全文を取得する」を選択した場合、受信メールを削除して、再びメールサーバにアクセスするとサーバ上のメールも削除されます。受信メールを削除しなければ、サーバ上のメールは削除されません。

<オプション 3>



「オプション」の設定後、[完了] をタップしてください。

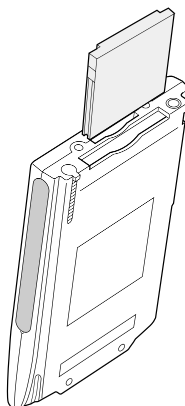
受信トレイに戻ります。



これで、電子メールの接続設定は終了です。

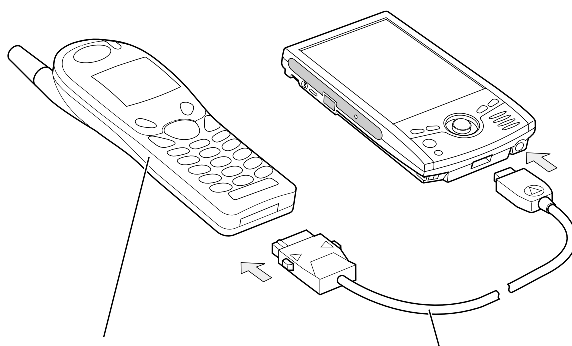
3 接続の確認

1 本体の電源を切り、CF タイプの PHS カード、または携帯電話を接続する

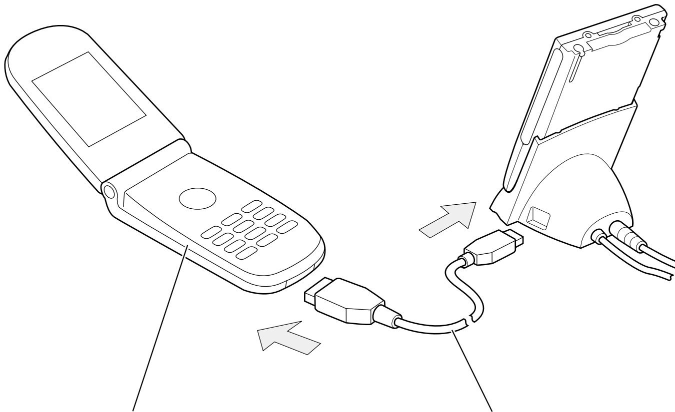


参照 カードの取り付けかた（22 ページ）

- ご使用する携帯電話に対応した接続ケーブルをご購入ください。



携帯電話(cdmaOne) .... 携帯電話(cdmaOne)接続ケーブル
携帯電話(PDC) .... 携帯電話(PDC)接続ケーブル

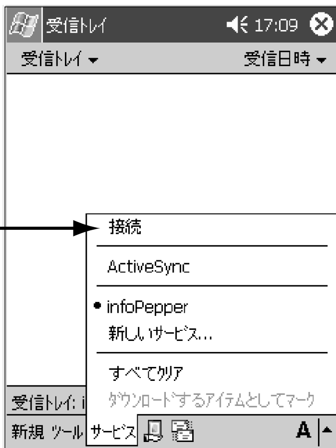


携帯電話(FOMA) .... NTT ドコモ製の FOMA USB 接続ケーブル

お願い

本体がパソコンに接続されている場合は、パソコンとの接続を取りはずしてください。

2 電源を入れて、「受信トレイ」の画面を表示させ、下の「サービス」をタップし、「接続」を選択する



3 接続の確認

③ 「ネットワークへのログオン」の画面が表示されたら、各フィールドへ入力して[OK]をタップする

ﾕｰｻﾞｰ名 : a1b23456@pep.ne.jp
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ : *****
ﾄﾞﾒｲﾝ :
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの保存
OK　ｷｬﾝｾﾙ

プロバイダによっては、@以降が不要の場合があります。プロバイダに接続するための「ユーザー名」を入力してください。

通常、入力の必要はありません。

※「ユーザー名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザー名	コネクションID ユーザID ID番号 PPPログイン名 ダイアルアップログイン名 アカウント　など
パスワード	コネクションパスワード PPPパスワード ダイアルアップパスワード ログインパスワード　など

④ 接続が開始され、しばらくすると「接続完了」のメッセージが表示される

接続を切るときは「サービス」から「切断」をタップしてください。



これで、接続の確認は終了です。

メモ

メモ

2002年10月　第1版発行

株式会社 東芝 モバイルコミュニケーション社

〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1